

昭和55年度社会学部学生卒業論文目録

(雑誌名 / Journal or Publication Title)

社会労働研究

(巻 / Volume)

27

(号 / Number)

3-4

(開始ページ / Start Page)

159

(終了ページ / End Page)

168

(発行年 / Year)

1981-06-20

卒業論文目録（昭和五五年度）

第一部

- 松井 一登 高度成長期における日本の産業構造
藤倉 四郎 八王子織物産業についての一考察
林 昭夫 高度経済成長の要因と崩壊の要因
千代間康隆 流通革命（中小スーパーから大手スーパーへ。ダイエーの歴史的展開）
藤野 智幸 日本の自動車産業
村井 豊 倒産多発時代への一考
脇 長生 マスコミ業界における中小零細プロダクションの実態と人間的価値と創造性に見るパワーの世界の明日は
久染 隆夫 南北問題
高橋 幹人 戦後におけるわが国の中小企業政策の展開とこれからの中小企業政策のあり方について
岡田 正 国鉄の経営状態と労使関係に関する研究
小林 恭久 高齢化社会における諸問題（定年延長を中心にして）
- 原山 毅 不当労働行為における賃金差別の研究
武藤 正 労働における男女平等論
梅田 元夫 高度成長期における資本主義的合理化と失業
佐藤 力 アルバイト学生から見た郵便局
望月 秀雄 ソ連の現状
本間 孝行 ファシズムと日本の思想
関 善仁 一九三四年アメリカ西部沿岸港湾ストライキ研究
氏原 秋弘 現代日本社会と日本人論
江草 善行 現代の地域社会
内田 敏久 戦後日本の農村社会の変容
小松 一夫 現代日本の住宅問題
金川 晋上 首都圏内都市・横浜とその都市計画論
星野 正紀 日本の都市——文化論的考察
田村 豊 地方都市における地域社会づくりの現状と課題
古山 由香 「日本の地方都市」——二本松市に関する考察
安斉 正 都市の人間・文化
小川 紀之 都市の鉄道と人間との関係について

- | | | | |
|-------|---------------------------------------|-------|-------------------------------|
| 武井 靖恵 | 社会集団の変化と子供の教育 | 藤井 美穂 | デイオールの靴と豆腐 |
| 塚本 啓子 | 都市における水問題―水洗トイレからの考察 | 吉原 幸男 | 「仕組みれた中流意識」―現代社会におけるマス・コミの機能― |
| 濱田 陽一 | 「公害」―その歴史的背景と今日の問題について | 岩本美保子 | 新聞と世論について |
| 塚本 和代 | 市民生活のなかのコミュニティ | 高澤 秀智 | 人間とイメージへの挑戦―By Visual Step― |
| 後藤 敏男 | 都市と自然と人間 | 長澤 広明 | メディアの中のシンデレラ「山口百恵」・解体新書 |
| 太田 昇 | 地方都市と文化 | 工藤 正史 | 現代日本の自殺 |
| 櫻井とも子 | 日本の家族とその人間関係 | 国石 昭彦 | 現代のファッションにおける若者の同調意識についての一考察 |
| 古家 大三 | 地方自治と市民参加―日本とアメリカ― | 鈴木 法博 | マス・メディアと社会 |
| 岩崎 俊一 | 文学社会学 | 長屋 良行 | 広告の魅する技術 |
| 笹井 啓二 | 少年非行と現代社会 | 伊井 章 | 自動車摩擦の研究 |
| 栗原 義明 | 旧尾小屋鉦山町の地域産業と住民生活―閉山後の社会と産業の動きを中心にして― | 小林 秀行 | エネルギーと環境のトレードオフの関係について |
| 宮脇 正 | 地域観光開発の構想と実態―石川県小松市・旧尾小屋鉦山町のケース― | 今成 文夫 | 「エネルギー政策」―日本の選択― |
| 三輪 武志 | 旧鉦山町における住民生活と社会意識―石川県小松市・尾小屋住民の事例分析― | 小川 尚 | 疎外・現代の様相 |
| 山下 一夫 | 「共同体と解任と再編」―旧鉦山町(石川県小松市尾小屋)の動態分析 | 峯 正和 | キリスト教国アメリカの特異性と現代社会 |
| 鎌田 康生 | 「若者文化と若者意識」について | 佐々木正純 | 科学に関する随想 |
| 佐藤美由貴 | 丸くなった人間達 | 長島 由和 | 日本における地価問題について |
| 志村 智恵 | 現代社会とタレント | 小倉 真一 | 人口問題 |
| | | 佐藤 淳 | 日本について―主として文化・風俗史 |
| | | 藤村 秀一 | 不治の失業 |

- 横内 淳 世水晶 頂瞰図絵
- 柴田 義之 「都市における集合住宅」―集合住宅における住みやすきとは―
- 佐藤 守 児童観の一考察―灰谷児童観を手がかりとして
- 新井 豊久 グループ・ワークの事例研究
- 松村 敦夫 日本における定年制と高齢化社会における雇用問題
- 溝口 喜之 環境に順応する人間社会
- 海野 紀子 労働組合の右翼的潮流と企業内福祉について
- 正本 幹子 リハビリテーション研究
- 高嶋 伸介 地域社会におけるソーシャルワーク実践の専門職制について
- 上田 恵樹 現代の貧困
- 村上 哲也 都市における家族崩壊
- 遠藤 宏子 現代社会における非行についての一考察
- 岡 信行 障害者制度の現状と課題
- 竹島 智子 社会福祉と生活環境
- 伊藤 仁志 子どもの社会性獲得について
- 田中 靖 大学サークルにおけるソーシャル・グループワーク
- 名取 秀彦 日本人と福祉
- 鶴岡 明広 我が国のエネルギー問題
- 依田 素味 環境心理学―その基礎的考察
- 山下 雄二 まちづくり
- 西谷 真弓 西欧の自然観
- 寺田 圭子 河川における水質汚濁
- 菅原 央 南アルプス・スノーピーク―村道―開発効果と自然破壊
- 高柳 義信 「減反」日本農業の危機
- 菊池 春彦 農業問題の今日的所在と市町村農政の課題
- 鈴木 亮司 稲作における受委託関係の実態について
- 山下 英俊 不足払い制度と牛乳過剰問題
- 緑川 淳 農村の都市化と社会問題
- 松本 幸喜 今日の農村に於ける農外婦人労働者の実態
- 西巻 康之 いまが出發のとき 出稼ぎを通してみる地方とそこで生きてゆくこと
- 山下 一彦 農業基本法の論理と背景
- 渡辺千和子 現代の農村婦人の実態と意識―ある農村の実態調査より―
- 金子 伸也 農民意識研究における一考察
- 村上 仁 地域社会
- 菅間 健司 農家―その階層性 農村実態調査から

- | | | | |
|-------|---|-------|--|
| 鈴木 茂樹 | 経済学ビジョンとスタグフレーション | 会田 俊之 | 民主的地域開発を求めて |
| 吉田 慎吾 | 日本政治の転換期について考える | 佐藤 毅一 | 地方債発行問題に対しての考察 |
| 小川 敏夫 | 一九七〇年代の財政金融政策 | 多田 光信 | 銀行の国債窓口販売ディールリングをめぐる証券業との垣根論争について |
| 黒崎 孝 | 八〇年代、我が国における石油安定供給の考察 | 梅村 雅士 | 広告、ライフスタイルと人間 |
| 猪鼻 勝己 | 日本経済の復興期から高度成長へいたる過程に占める金融政策の役割 | 福島 貞夫 | 八〇年代における広告表現 |
| 西村 弘 | 減反問題入門—今日の日本の農業問題とは何か— | 藤田 繁 | 現代ライフ・スタイルにおける生活感覚の検討及び企業におけるマーケティング政策 |
| 岡田 和則 | 貨幣論の探究 | 横山 巧 | 現代社会の消費者行動 |
| 鈴木 文夫 | マルクス「経済学批判要綱」におけるいわゆる「三段階論」へ依存関係史論をめぐって | 加藤 文子 | 明日のテレビについての考察 |
| 樋渡 良一 | 知覚・思考・科学 | 久村 雄二 | マスコミは日本語を乱すか—流行語・若者・そして社会効果— |
| 小幡 利行 | E・デュルケイムの歴史的背景と社会理論 | 糸魚川雅信 | 高校生スポーツの商業放送の独占放送について |
| 斑目 茂芳 | 初期マルクスの研究 | 鈴木 朝司 | 大衆娯楽文化におけるファン意識とマスコミ |
| 堀部 茂樹 | 財政投融资の現状とその問題点 | 比留間秀蔵 | 地域社会と民放ラジオ—民放ラジオの課題— |
| 笠野 貴之 | 公社債市場における国債大量発行下の国債の滞留要因 | 山田 高章 | 百貨店業界と流通産業の行方 |
| 内海 正洋 | | 荘司 和弘 | 大衆にとってのテレビCM論 |
| 北山 忍 | 高齢化社会における年金財政 | 中川 清美 | 子ども番組のブームを創るもの |
| 木本 信之 | 「日本の地域開発」—全国総合開発計画を中心にした戦後高度成長期からの地域開発— | 佐藤 裕行 | チラシ広告論 |
| 藤井 純郎 | 法人税制における租税特別措置 | 高木 秀道 | 「成熟社会(文化の時代)」における、企業活動と広告について |

古田 佳代	私の思想体系―自分との対話	中島 浩二	日本の防衛政策の現状
山田 俊行	若者文化とマスコミ文化―ファッション・ブル・ファッション	横尾 雅彦	憲法第九条の解明と、自衛隊との関連研究
渡辺 幸雄	マンガ・メディア―マンガの構造とそのコンベンションについての考察	赤松 昇	国家防衛と日本人について
大橋 正治	ストライキ中の賃金カットの時期と範囲について	阿部 孝志	自衛隊と憲法9条
安田 慎司	ストライキの際の賃金カットの範囲について	鈴木 董	何故、保守党がこんなに長く続くのか―八十年史
神田 明彦	国鉄順法闘争の判例	田中 勝彦	上初のダブル選挙における自民党の圧勝
関根 仁	三六協定の法理	遠藤 俊信	教育と若者の防衛意識
石川 隆	短期労働契約の更新拒絶	大塚 肇	労働時間と休暇
本宮真由美	出向	木村 尚人	通勤災害
水谷 正美	ロックアウトについての考察	小林 道明	労働者の意識調査
村山 真一	整理解雇の正当性	宮下 隆利	社会保障制度の歴史的展開と社会保険
田中 真弓	労働基準法研究会第二委員報告についての考察	吉野 豊	官公労働者の争議権について
林 孝	ロックアウト	大沢 順子	日米不当労働行為制度法制化をめぐる歴史的展開と制度上の問題研究
久富 敬夫	わが国の防衛問題	荻沼 恵子	高齢化社会への挑戦
舟山はるみ	民衆運動としての六〇年安保闘争	久保 尚樹	労働組合と経営参加
高橋 秀治	日本防衛政策の展望	山本 則子	官公労働者の争議権―裁判例の軌跡とその法構造
植村 知司	軍備拡張と自衛隊	多田 等	官公労法上の争議権剝奪に関する考察
岡安 秀二	歴史的に見た日本人の防衛思想	武田 信一	社会事業従事者における労働者の見地からの一考
高岩 巖	「防衛」その現状と未来への提言		

察

- | | | | |
|-------|---------------------------------------|-------|--|
| 加藤 将洋 | 労働組合研究 | 吉見 和生 | 就業構造の変化と「第三次産業」の雇用 |
| 川島 信一 | 解説 労働災害 | 渥美 幸博 | 豊岡村の農業構造と実践的農業政策について |
| 橋本 高志 | 労働災害の現状と被災労働者への補償 | 宮内 克英 | 地域医療の現状と展望 |
| 福田 勝弘 | 雇用における男女平等 | 大藤 俊則 | 難病社会啓発論―新しい地域医療をめざす日野市の難病運動をレポートして |
| 遠藤不可止 | 現代労働事情における解雇の意義の考察 | 遠藤 孝子 | 障害者の就労の現状と問題点について |
| 鈴木 敏男 | 週休二日制と余暇について | 平塚 恵一 | 「子ども」から「おとな」へのアプローチ―教育法学的視座による今日的課題 |
| 菊池 了児 | 八丈島の産業 | 星原 雅之 | 現代日本の教育構造とその再生 |
| 原 藤男 | 高度経済成長の諸要因 | 井山 利秋 | 佐世保重工闘争にみる同盟―J・C型労働運動の性格 |
| 石井 亮一 | ユーロ・コムニズム私観 | 井上 洋子 | 或る気配 |
| 児矢野 博 | 南北問題、途上国の低開発性の構造と原因について | 斉藤 洋子 | 複合感覚的見地によるニューミュージックの詐欺学 ^{レトリック} |
| 斉能日出夫 | 不況期にも強いレコード業界をオイル・ショックと関連させて経済的見地から探る | 高木 祐治 | CMソング |
| 篠 秀也 | 社会福祉に関する一考察 | 佐方 信二 | リクルート・ブルース |
| 小泉 享 | 『弁証法的理性批判』における基礎概念の批判的検討 | 岡部 昇 | 民俗音楽の商業化の一形態―そのブルーグラスの場合― |
| 小林 弘子 | 一つの可能性を求めて | 犬童 孝至 | テレビ文化に関する一考察 |
| 川上 浩 | 公務員の争議行為禁止の法理 | 岡本 健二 | 夜の時代に―ある個人的な備忘録 |
| 倉島 正美 | 生命保険の歴史 | 萱谷 聖子 | 短絡思考の所在 |
| 新田 充 | 身体障害者の雇用―その現状と企業の対応 | | |

- 小池 京子 イギリスにおける一ヶ月
- 佐々木信幸 「イエスの方舟」問題におけるマスコミ報道について
の考察
- 武田 久美 改訂版「僕って何」
- 星 貴之 現代文化への警告
- 古賀多恵子 女性の結婚・仕事の両立性その可能性
- 清田 昌彦 マス・メディアからのメッセージ
- 古山 智子 伊魔阿孺(イマージュ)
- 内藤 浩子 タレントの顔にみるパーソナリティ役割と現代人の美的感覚
- 南波佐間信彦 報道の客観性について
- 信川 広司 私自身による「信川広司」分析
- 山内 和夫 私的情報環境における女態論
- 溝口 智之 企業システムの変革
- 深谷 達 イスラーム社会の基本原理解
- 小玉 圭太 サトウキビの島―沖縄
- 長束 克哉 発展途上国における農業の一側面
- 藤田 克也 東南アジアの民族主義と国際関係
- 中原 進 「OPECの価格革命の意義と背景」―第一次石油危機時の10月革命と新国際経済秩序―
- 菅沼 孝雄 長野県ははたして「教育県」か？
- 大島 登 漢帝国の社会構造
- 柳沢 俊幸 日本の自殺の文化的特徴―社会的集団の理論―
- 田中 匡 エネルギー選択の未来―原子力問題を中心に―
- 小林 和幸 明治維新期の民衆運動
- 長沢 哲二 大学教育の問題点―生活史的視点から―
- 渡辺 健実 子どもの自殺とその背景
- 笹山るみ子 労働と労働者意識の変化―技術革新の視点から―
- 丸木 洋子 現代日本の離婚―なぜ離婚は増え続けるのか―
- 村田 康昭 高齢社会と高齢者労働問題
- 清水 啓一 美濃部都政と都市問題
- 小磯 満 現代青少年の問題行動とその背景―家族論の視点から―
- 尾崎 俊昭 天皇制教育体制確立期の社会教育
- 沖増 正和 国際環境下における軍部のファッショ化思想
- 高橋 淳 ホロコーストへの軌跡―ヒトラーの思想とユダヤ人の考え方―
- 尾方 正雄 日本国憲法第九条制定の背景と経過
- 中村 義孝 防衛論議とその背景にあるもの
- 芝岡 正智 フランス 五月危機の本質(ルノー工場闘争を通して)
- 園原 操 衆参同日選挙 自民圧勝の構造保守回帰とは何か

- 横山 貴弘 高齢化社会における定年制のありかた
小松 育文 婦人労働問題における母性保護の分析
鈴木 雅裕 年功賃金制度
小沼 薫 △偏見▽△差別▽に関するノート……部落差別
 における△差別意識▽を中心に
中村 司 戦後の大衆生活と余暇に関する考察
岩崎 彰宏 人間存在の諸問題について
鎌形 睦子 在日朝鮮人の歴史と現状
岡田 則子 父親・母親・子供についての考察
大野千恵子 青少年の自殺
櫛引 徹夫 変動の時代 大衆消費社会と消費意識
古山 等 空間の心象風景
達 智子 今日の出生率・異常低下―さまざまな要因
山口裕美子 エディプスコンプレックスのかかわりから見た日
 本婚姻制の研究
渡辺 昭彦 現代大学生考
渡辺 和弘 西独三週間見である記
赤間由美子 現代マスコミと情報操作
大森 利春 対人恐怖症と日本文化
加藤 昌朗 現代社会の心理構造
竹上 幸吉 社会体系分析のための行為論的基礎
- 知久 哲子 社会的性格とフロイト
根本 秀一 社会構造の私的考察
山川 富夫 日本社会の行く方
小貫 祐子 現代主婦考
斎藤久美子 心的エネルギー
佐々木史郎 新しい三世大家族
古山 勝美 学歴社会について
星 典男 流行歌雑考
志村 正明 「ゲルトルートはいかにしてその子を教うるか」
 におけるペスタロッチの「自然」
前田 次郎 大都市近郊人口急増地域における住民意識と住民
 組織―入間郡大井町を例にして―
榎本 俊司 一九六〇年代アメリカ黒人解放闘争とフリー・ジ
 ャズ
成田 敏行 ジョン・レノンの考察
高栖久美子 片岡義男の作品を通しての現代の社会風俗とくに
 クルマに関しての一考
佐藤 仁 映画作家とシンボル
横山 智 ニューウェイブ論
斎藤 伸子 テレビの過去・現在・未来
山田 悦子 テレビ検討

永畑 雅人 音楽における肉体と非日常の復権

松尾 昭子 SONG IS LOVE—私的オフコース論

大澤 雄治 流行歌における愛の考察

金子 浩 スターウォーズはタイイズムだ

佐藤ひろみ 能面にみる民俗

大館 深雪 流行歌の方程式

森田 由美 SOS若者再考

堀江 洋介 アメリカの対日占領政策の形成について

大槻美由紀 第三のピークとその背景 今なぜ非行が問題なのか

根岸 利宗 転向私論

新井 直樹 加波山事件—現代にひきつぐもの—

岸田 稔 中江兆民の矛盾点と唯物論との関わり

倉掛 頼子 今昔国語廃止英語採用論 森有礼の足跡

讃岐 敏明 ジョージ・オーウェル—人間の連帯

荒谷 文子 社会教育と「主婦」

阿部 孝之 高齢化社会と老人医療

佐々木秀輝 国民年金の現状と今後の課題について

森 誠一 高齢者の生活構造と社会保障

後藤 智子 働く女性たち

鈴木 稔 高齢者と安楽死についての雑感

瀬沼 広美 高齢化社会到来への一考察

濱田こゆみ 羊水検査

松浦 光広 労働者の生活と貧困について

伊藤 幹郎 我国明治期における天皇制及び資本主義と社会福祉的政策について

高橋美弥子 環境破壊—一九六〇—一九八〇の地域開発をふり返って

中嶋ひろみ 障害児の就学問題

笠原 則男 ヨーロッパの社会保障制度

伏見 敬子 福祉行政と地域福祉

中込美代子 子どもの生活問題—都市に生活する子どもの実態—

藤岡 勇一 わが国年金制度の現状と問題点について

第二部

酒井 昌夫 ヒューマン・リレーションズにおけるホーソン工場の実験の役割

高橋 勝巳 花卉業界の実態と流通問題

熊谷 暢芳 経済成長下の零細企業増加の問題

川口 弘記 「人間」であることへの考察

中島 勇 日本農政の現段階

清水源太郎 昭和五五年度冷害が語るもの

中澤森之助 農業高校生の意識構造―宮城県某農業高校における調査結果―

高橋 利夫 「自由社会」―資本主義経済の基本的理解のために

伊藤 降善 「価値形態論」にみる商品世界の物神的性格について

吉水 幸弘 資本主義の世界的危機

佐々木大作 高齢化と定年延長

柳沢 健治 財政投融资と年金積立金について

更級健一郎 八〇年代 年金制度の動向 年金改革にみられる

特徴と今後の展望

小山 浩 若者の遊びの規格化

小宮山 修 現代社会における広告についての一考察―新聞広告の機能的分類と分析―

須田由美子 労働者の労働災害論 労災発生を巡って

蟹江 尊徳 中国のベトナム侵略―現代中国の姿とベトナム―

大関 恵士 北方性教育運動と村山俊太郎